

## -Safety News-



発行  
東北情報インフラユニオン  
仙台市若林区新寺一丁目2番7号  
TEL:022-297-5196  
FAX:022-297-5198  
発行責任者:石川 亨  
編集責任者:村上 良智

## 無事故で 家族のもとへ笑顔で帰ろう！！

日頃より、私たち東北情報インフラユニオンの活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。今年度も残すところわずかとなりました。私たちの働く通建業界においては、全国的に重傷・軽傷を含む人身事故が後を絶たない状況にあり、転落・転倒といった死亡事故に繋がりにくい人身事故は、依然として発生しており、その多くは過去に発生した事故と同様な内容も見受けられます。

東北管内においても、昨年11月に“絶対に起こしてはならない”死亡事故が発生していることから、引き続き、労働組合の立場で、事故の教訓や再発防止の風化防止に向け取り組みの強化を図ることとしますが、全国的に発生している事故の要因・原因を見れば作業員自身の近道行動や不安全行動等、作業手順の誤りが起因するものが多く発生しております。

現場作業においては、作業環境にあった安全対策を実施することは勿論のこと、過去に発生した事故事例を思い出し、危険ポイントを再確認し作業班全体で共有していただきたいと思っております。

全国的に令和2年度は58件の人身事故が発生し、そのうち通信建設業界においては、32件の人身事故が発生しています。今年度発生した人身事故は下記の内容となっております。自社で発生した事故は勿論のこと他社で発生した事故についても今一度ご確認頂き、事故を決して「対岸の火事」とすることなく、個々人が「自分の職場からは事故は発生させない」との強い気持ちで作業に従事していただき、日々皆さんの帰りを待っている家族のもとへ「笑顔」で帰りましょう。

(人身事故の発生件数は、令和3年3月11日現在)

### <令和2年度発生通建業界における人身事故>

発生日	発生場所	発生事由
R2.4.18	京都府	すり抜け防止の足場ボルトを外し電柱を吊り上げたところ、玉掛ワイヤが滑り継柱上部が落下し、丸腰監視員が下敷きとなり負傷
R2.4.22	山形県	脚立へ昇降した際、脚立二段目でバランスを崩し転倒し、胸部を床に強打して負傷
R2.4.28	埼玉県	単管パイプに梯子を掛けて作業をしていたところ、単管パイプの繋ぎ目が外れ梯子と共に倒れ負傷
R2.5.8	神奈川県	脚立にて制御盤上部に登ろうとして足を滑らせてバランスを崩し、制御盤上部へ倒れこんだ際に胸を強打し負傷
R2.5.13	広島県	脚立を昇っている際、4段目で足を滑らせ転倒、その際右腕をつき負傷
R2.5.26	神奈川県	つり線を切断した際、つり線がばらけ作業員の目の付近に当たり負傷
R2.6.10	千葉県	風にあおられ梯子と共に尻餅をついて転倒し負傷
R2.7.1	兵庫県	地下ピットに入構し作業していたところ、第3者が地下ピット蓋につまづき転倒し負傷
R2.7.20	千葉県	クレーン作業(ユニック車)で残土袋を地面に下ろす際、残土袋に指を挟め負傷
R2.7.20	長崎県	足を滑らせ水路に転落し負傷
R2.7.25	千葉県	落下したパイプ1本が地面からはね、被災者の肩、背中に衝突し負傷
R2.7.27	栃木県	サンダーが跳ねて右太腿内側に接触し負傷
R2.7.31	鹿児島県	坂上側の高所作業車が動き出し、車両に挟まれ負傷
R2.8.27	宮城県	円形側溝(段差5cm)に躓き足首をひねり負傷
R2.9.5	北海道	車両をバックさせた際、後方にいた交通誘導員を巻き込み死亡
R2.9.14	福島県	パンザマスト組み立て中、1段目と2段目を組み立てる際、指が巻き込まれ負傷
R2.9.16	東京都	サンダーで管路内の通線紐を切断しようとした際、紐がサンダーに絡まり、指に接触し負傷
R2.9.27	福島県	空柱が倒れ、被災者は柱を手で払うが弾かれ、近くの岩に側頭部を殴打し負傷
R2.9.29	兵庫県	一般車両のドアミラーが交通専門誘導員の右肩に接触・転倒し負傷
R2.10.12	東京都	作業後に閉めたはずの点検口が開きお客様が負傷
R2.10.16	埼玉県	移動梯子更改作業中に新設した移動梯子付近で負傷
R2.11.7	新潟県	工事車両誘導中、交通誘導員の発見に遅れた一般車両と交通誘導員が接触し負傷
R2.11.10	神奈川県	ダンプのあおり部分に左手中指を挟み負傷
R2.11.14	岩手県	切断した木がケーブルによる張力によって跳ね返り、木が作業員に倒れ死亡
R2.11.23	東京都	輪留めが車輪に跳ね飛ばされ隣の作業現場にいた作業員に接触し負傷
R2.11.25	香川県	河川堤防より誤って転落(高さ約1.6m)負傷
R2.11.25	静岡県	山中より下山途中斜面より滑り落ち負傷
R2.12.5	山口県	バケット車より宙乗器に乗り移り体制を整える際、バランスを崩し転落し負傷
R2.12.30	広島県	伐木中の倒木がすり落ち、その反動で他の樹木が作業車に接触し負傷
R3.1.22	岡山県	工事車両誘導中、足を踏み外し転落(高さ約1.5m)負傷
R3.2.8	長崎県	脚立の天板に梯子を載せて昇っていたところ、途中でバランスを崩し飛び降り負傷
R3.3.4	鹿児島県	電柱が折れ作業員が転落(3m程度)負傷



# 新型コロナウイルス感染防止の徹底を！

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐためには、政府が示した「新たな生活様式」を基本とした感染予防の実施や不要不急の外出の自粛、密閉・密集・密接という「3密」を避けることなどが重要です。

3つの条件のある場所では、感染を拡大させるリスクが高いといわれています。また、屋外でも、密集・密接には注意し、人込みや近距離での会話、特に大声を出すことなどを避けましょう。

## 感染防止のための日常生活の在り方

### ポイントをおさえた会食

換気が良く、座席間の距離も十分で、適切な大きさのアクリル板も設置され、混雑していない店を選択してください。



食事は短時間で、深酒をせず、大声を出さず、会話の時はマスクを着用してください。



人数が増えるほどリスクが高まります。できるだけ、家族が、4人までにしてください。



### ポイントをおさえた生活

外出はすいた時間と場所を選んでください。特に平日・休日ともに混雑した場所での食事は控えてください。



卒業旅行、謝恩会、歓迎迎会は控えてください。花見は宴会なしをお願いします。



仕事は組織トップが決意を示し、リモートワークを推進してください。



## 感染リスクが高まる「5つの場面」

### 場面1 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用は感染のリスクを高める。



### 場面2 大人数や長時間に及ぶ会食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



### 場面3 マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



### 場面4 狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



### 場面5 居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気のゆるみや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

